

平成30年度 学校自己評価システムシート（栄北高等学校）

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」のもと、安全・安心・充実した生活で生徒の夢を実現する
--------	--

重点目標	1 生徒指導の徹底 2 基礎学力の向上とアクティブラーニング、キャリア教育の推進 3 進学実績の向上
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	13名
	教職員	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								
年 度 目 標				中間評価	年 度 評 価 (3 月)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ●本校は素直で真面目な生徒が多く、非行など問題行動で指導（懲戒）を必要とする状況が非常に少ない。 ●入学時より正しい生活習慣を身につけることによって高校生としての自覚や更なる充実した学校生活と効果的な学習が望まれる。 ●本校では基本的な生活習慣やマナーについて徹底指導しており、高校生活はもとより、卒業後にも通用する人格形成に心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒指導の徹底。 ●積極的な面談の実施。 ●いじめの早期発見、早期解決。 ●担任による日常指導の徹底。 ●家庭連絡の充実。 ●高校生としての自覚の確立。 ●身だしなみの徹底と挨拶の励行。 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談により、生徒を理解し学習面及び生活面の安定と向上を目指す。 ●生徒の生活習慣を把握し、一人ひとりに合った指導を行う。 ●個別膝下指導により、悩みごとの早期発見と解決を行う。 ●学年と生徒指導部との連携、情報の共有により、問題行動の事前防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒指導の徹底により、問題行動を事前に防止し、健全な高校生活を送らせる。 ●積極的な面談の実施により、生徒個々の状況を把握する。 ●アンケート等により、いじめの早期発見、早期解決を目指す。 ●担任が生徒一人ひとりの状況を把握し、徹底した指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒指導の徹底。達成状況 B。 ●積極的な面談の実施。達成状況 A。 ●いじめの早期発見。達成状況 A。 ●担任による日常生活指導の徹底。達成状況 A。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会性の必要性を理解させ、家庭とも連携を取り、共通理解のもと適切な指導を実施した。 ●各学年、クラスで、面談を計画的に行い、個々の現状把握ができた。 ●アンケートと、個別面談によりいじめ防止を図った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●社会性の必要性を理解させ、高校生として、ワンランク上の自覚を持たせていく。 ●連携を密に取り、積極的な面談を実施していく。 ●早期に正確な生徒の状況把握を目指していく。 ●的確な連携により、問題の未然防止に努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●特色あるカリキュラムのもとに、国公立大学や難関私立大学を目指す生徒から、部活と勉強を両立させて高校生活を有意義に過ごしたい生徒まで、一人ひとりに合わせた学習指導で学力を向上させる。 ●「アクティブラーニング型授業」「キャリア教育」「基礎学力の向上」を3つの柱として、生徒の主体性や思考力、表現力を養わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎学力の向上。 ●放課後の校内学習と家庭学習の取り組み姿勢。 ●アクティブラーニングの推進。 ●キャリア教育の推進。 ●教員の指導力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徹底した学習指導により、基礎学力を向上させる。 ●日常の指導とコミュニケーションによる、放課後校内学習と家庭学習の習慣化。 ●アクティブラーニング及びキャリア教育の意義や目的を生徒に理解させての実施。 ●教員研修を実施し、教育力、指導力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徹底した学習指導により、基礎学力が向上したか。 ●放課後の校内学習を含む学習習慣が確立されたか。 ●アクティブラーニングが推進されたか。 ●キャリア教育が推進されたか。 ●教員研修等により教員の指導力が向上したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎学力の向上。達成状況 C から B の間。 ●教員の指導力の向上。B。 ●家庭学習の充実。達成状況 C から B の間。 ●アクティブラーニングの推進。C。 ●キャリア教育の推進。達成状況 A から B の間。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の取り組みに差はあるが、概ね基礎学力は向上した。 ●家庭学習は、各教員の指導によりかなり定着してきている。 ●教員は、夏期研修や研究授業、授業公開を行うなど努力した。 ●アクティブラーニング、キャリア教育は、相互授業見学と、地域に根差した研究推進をすることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●自習室を利用した学校で完結する学習をさせていく。 ●自らの意思で学習できるような取り組みを目指す。 ●教員指導力の向上のため、さらなる研修、指導力の向上を目指す。 ●アクティブラーニング、キャリア教育の研究推進。さらなる研修、指導力の向上。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの生徒が4年制大学進学を希望しているが、その半数以上が推薦入試またはAO入試での受験を希望している。単に学力試験がないという理由で推薦・AOを考える者も多いので、安易な選択をさせず、しっかりと学力をつけて一般入試に気持ちを向けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学の合格者増。 ●早慶上理、GMARCHの合格者増。 ●成成國武明獨、芝浦工業等の合格者数増。 ●進学行事を精選し、内容をより充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●0時間目演習（早朝学習） ●代ゼミ現役講師演習。 ●7・8時間目演習（放課後演習）。 ●本校を会場とした国公立大学をはじめとする大学進学相談会。 ●外部講師による進学講演会や小論文講演会等。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徹底した進学指導により、目標大学への合格が実現できたか。 ●進学講演会や小論文講演会により、受験に対する意識が高まったか。 ●進学行事を精選、内容の充実により、進学実績が向上したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国公立、早慶上理、GMARCH、日東駒専の合格者数は、大学入試終了後に評価する。 ●進学行事を精選し、内容をより充実させる。達成状況 A。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学、過去最高の合格者数。早慶上理、GMARCH、昨年度比約 2.4 倍の合格者数。成成國武明獨、芝浦工業等合格者数、微増だが健闘した。 ●無駄のない年間計画を確立し、進学指導ができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●早めに意識付けを行い、国公立大学への受験生を増やす。 ●各大学への対策を充実させる。 ●三大女子大学の受験生を増やす。 ●進学行事については、更なる充実化・効率化を図る。

学校関係者評価
実施日 令和元年5月9日(木)
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生だけでなく学校全体の先生方で生徒を見てくれました。 ●素直な生徒が多く、非行とは無縁であると思うが、インターネットやスマホ等を通しての悪質なサイト勧誘等から生徒を守らなければならないと思っている。保護者として密に声掛けをする必要があると思う。いじめ等は皆無であると思う。 ●指導に対する子供からの不満はきかれず、適格だったのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ●学習に対しての環境、取り組みは素晴らしく、結果は目に見えている。しかし、まだ意欲的に取り組もうとしない生徒も少なくない様に思われる。こちらも教員、保護者の働きかけが必要と思われる。 ●自らの意思で学習に取り組む環境作りが必要です。快適な自習室の開放を今後もお願いします。 ●モチベーションを上げる指導をしてくださっていると感じます。アクティブラーニング型授業の推進をよりいっそうお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ●年々、結果を残し進学校になりつつあると思う。しかし指定校推薦でよいと楽をしようとしている生徒もいるのも事実、どこでもよいという考えではなく、目的、目標を持たせるのも大事かと思う。 ●早めの意識づけで、子供の学習意欲の向上につながったと感じます。 ●来年から受験も変わるので情報をいろいろといただきたい。